

いのち響きあう出会い ～つながりの中に生かされる私たち～

9:30
開会礼拝

10:00
講演

13:15
分科会

弱さをきずなに
～べてるの歩みと当事者研究～

12:00
昼食・販売

むかいやち いくよし
向谷地 生良さん
「浦河べてるの家」
メンバーの皆さん

16:00
閉会礼拝

べてるの理念より：

- ・三度の飯よりミーティング ・安心してサガれる職場づくり
- ・自分でつけよう自分の病気 ・手を動かすより口を動かせ
- ・偏見差別大歓迎 ・幻聴から幻聴さんへ ・場の力を信じる
- ・弱さを絆に ・べてるに染まれば商売繁盛 ・弱さの情報公開
- ・勝手に治すな自分の病気 ・そのまんまがいいみたい
- ・昇る人生から降りる人生へ ・苦勞を取り戻す ・それで順調、
などなど



2016年2月11日(木・祝)

9:30～16:30 (受付開始 9:00)

救世軍 杉並小隊 1階ホール

〒166-0012 東京都杉並区和田 2-21-39

東京メトロ丸の内線 中野富士見町 (10分)・東高円寺 (15分)

バス [中71] 中野駅ー永福町「母子寮前」

[渋66] 阿佐ヶ谷駅ー渋谷駅「堀之内二丁目」

参加費：

1日参加 2,000円 (学生 1,000円)

午前のみ 1,500円 (学生 1,000円)



お申込みは：

FAX: **053-420-0456**

E-Mail: **jcswl@citrus.ocn.ne.jp**

郵送の場合：

〒433-8105 浜松市北区三方原町 3014-1 第2アドナイ館
日本キリスト教社会福祉事業同盟内 21キリスト教大会受付係

主催：21世紀キリスト教社会福祉実践会議

事務局：0422-31-4611 (ルーテル学院大学内 市川研究室)

E-mail: 21cswp@gmail.com

第10回大会実行委員会：

カリタスジャパン・救世軍・聖公会・日本キリスト教児童福祉連
盟・日本キリスト教社会事業同盟・日本キリスト教社会福祉学会・
日本キリスト教保育所同盟・ルーテル社会福祉協会 (50音順)

いのち響きあう出会い ～つながりの中に生かされる私たち～

21 世紀キリスト教社会福祉実践会議は超教派の立場から、キリスト教の社会福祉関係団体が協働して、時代を生きるキリスト教社会福祉実践を切り開こうと大会を 2 年ごとに企画しています。

第 10 回となる記念大会では、「いのち響きあう出会い～つながりの中に生かされる私たち～」をテーマに、北海道浦河町で精神障害等をかかえた当事者の皆さんの地域活動拠点である「浦河べてるの家」創設者の向谷地生良さんとメンバーの皆さんをお迎えし、ともに考え、学ぶ機会にしたいと思ひます。信仰の有無、立場は問いません。どなたでもお気軽にご参加いただけます。多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

当日のスケジュール

- 09:00 受付開始
- 09:30 開会礼拝 (救世軍)
代表挨拶 (幸田和生)
- 10:00 講演「弱さをきずな
～べてるの歩みと当事者研究～」
(向谷地生良さん・「浦河べてるの家」
メンバーの皆さん)
- 12:00 昼食・物販
- 13:15 分科会 (わかち合い)
- 15:15 全体会
まとめ (市川一宏)
- 16:00 閉会礼拝 (聖公会)

講演者紹介

向谷地 生良さん

ソーシャルワーカー・北海道医療大学
看護福祉学部臨床福祉学科教授
1955 年青森県生まれ。1978 年より
浦河赤十字病院医療社会事業部に勤務。



1979 年より、町の古い教会 (後のべてるの家) を拠点として、精神障害を体験したメンバーと共に、当事者の交流活動と共同生活を開始。1984 年に「浦河べてるの家」発足。2002 年、全国で初めて当事者が理事長・施設長に就任し、社会福祉法人を設立。2003 年より北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科で、精神保健福祉士の養成にあたりながら、メンバーと共に、「当事者研究」の普及を目指し、全国各地を飛び回る日々。

<浦河べてるの家 関連図書>

「精神障害と教会 教会が教会であるために」(いのちのことば社 2015)
・「べてるな人々 第 1～第 3 集」(一麦出版社 2008-2012)・「安心して絶望できる人生」(いのちのことば社 2006)・「降りていく生き方:「べてるの家」が歩む、もうひとつの道」(太郎次郎社エディタス 2003)・「べてるの家の「非」援助論」(医学書院 2002) など多数

FAX 送付先: 053-420-0456

21 世紀キリスト教社会福祉実践会議第 10 回大会申込書

氏 名			
所 属 等			
連絡先 (勤務先・自宅)			
住所: 〒 _____			
電話: _____		FAX: _____	
メールアドレス: _____			
該当するものに ○をつけて下さい。	1 日参加	午前のみ参加	学生
	お弁当 (別途 ¥1,000) は 必要 ・ 不要		
特別な配慮が必要な方はご記入ください。			

*参加費、お弁当代は当日お支払下さい。お弁当のお申し込みは、2 月 5 日までにお願ひ申し上げます。なお、当日不参加によるお弁当のキャンセルにつきましては後日請求させていただきます。ご協力のほどお願ひ申し上げます。